

整理番号

asahikako-8

作成日

平成27年 4月 1日

改定日

平成28年 8月 8日

## 製品安全データシート (SDS)

### 1 製品及び会社情報

製品名 パワーグリーン(生第46029号 10.0粒状アサヒ熔成マンガ肥料)  
会社名 全国農業協同組合連合会  
担当部署 肥料農薬部  
住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F  
電話番号 03-6271-8285  
Fax番号 03-5218-2536  
電子メールアドレス zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡電話番号 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

### 2 危険有害性の要約

GHS分類 分類できない  
他の危険有害性情報  
分類の名称： 分類基準に該当しない。  
危険性： 不燃物である。  
有害性： 有害性は極めて低いが、多量に経口摂取すると嘔吐や腹痛・下痢、ショックを起こすことがある。  
環境影響： 特になし。

#### 物理化学的危険性

火薬類： 分類対象外  
爆発物： 分類対象外  
可燃性又は引火性ガス： 分類対象外  
エアゾール： 分類対象外  
支燃性又は酸化性ガス： 分類対象外  
高压ガス： 分類対象外  
引火性液体： 分類対象外  
可燃性固体： 分類できない  
自己反応性化学品： 分類対象外  
自然発火性液体： 分類対象外  
自然発火性固体： 分類対象外  
自己発熱性化学品： 分類対象外  
水反応可燃性化学品： 分類対象外  
酸化性液体： 分類対象外  
酸化性固体： 分類できない  
有機過酸化物： 分類対象外  
金属腐食性物質： 分類できない

#### 人健康有害性

急性毒性(経口)： 分類できない  
急性毒性(経皮)： 分類できない  
急性毒性(吸入：気体)： 分類対象外  
急性毒性(吸入：蒸気)： 分類できない  
急性毒性(吸入：粉塵、ミスト)： 分類できない  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 分類できない  
眼に対する重篤な損傷性  
又は眼刺激性： 分類できない  
呼吸器感作性及び皮膚感作性： 分類できない  
生殖細胞変異原性： 分類できない

発がん性 : 分類できない  
 生殖毒性 : 区分 1 B (生殖能又は胎児への悪影響のおそれ)  
 特定標的臓器毒性  
   単回暴露 : 区分 2(呼吸器)に該当  
   反復暴露 : 区分 2(神経系、呼吸器)に該当  
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル： 健康有害性



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 呼吸器の障害のおそれ  
 長期又は反復ばく露による神経系、呼吸器の障害のおそれ

注意書き：

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入力すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。  
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。  
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

【保管】

水濡れや破袋、子供などに注意し、乾燥した場所にて施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。  
 国・地域情報 国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 混合物  
 化学名又は一般名 : マンガンスラグ(製品中 MnO として約 11%~14%)、  
 その他

成分情報

化学物質	含有率	化学式	官報公示・ 整理番号		CAS
			化審法	安衛法	
マンガン及びその無機化合物	95%	非晶質溶融固化物	1-412	9-550	—

その他	5%	—	—	—
-----	----	---	---	---

国連分類・国連番号：国連の定義上危険物に該当しない。

#### 4 応急処置

吸入した場合：速やかに新鮮な空気のある場所に移す。安静に保った後、医師の診察を受ける。呼吸が弱い場合及び呼吸が停止している場合は、衣類を緩め、呼吸気道を確保したうえで、人工呼吸を行う。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：付着した部分を水又は石鹼水でよく洗う。もし、皮膚に炎症を生じた時は、医師の診察を受ける。

目に入った場合：直ちに清浄な流水で、15分以上洗眼する。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り取り除いて洗浄する。洗顔の際は、瞼を指でよく開き、眼球及び周囲を十分洗う。洗眼後は医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：清浄な水で口の中をよく洗浄し、意識がはっきりしていたら水を飲ませて嘔吐させた後、医師の診察を受ける。（無理に嘔吐させない。）

意識がはっきりしていない場合や無い場合は、水を飲ませてはいけない。また無理に嘔吐させないで速やかに医師の診察を受ける。

予想される急性症状及び吸入遅発性症状

吸入：咳、息切れ、気管支炎、肺炎。嘔吐、腹痛、下痢（大量時）  
 皮膚：刺激、発赤。  
 眼：刺激、炎症。  
 経口摂取：嘔吐、腹痛・下痢。

#### 5 火災時の措置

本製品は不燃性であり消火活動は不要であるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能場合は容器および周囲に散水して冷却する。

適切な消火剤：水、粉末消火剤、泡消火剤など、いずれも使用できる。  
 消化を行う者の保護：消火作業は、吸入、暴露を避けるため風上より行い、適切な空気呼吸器、化学用保護衣（耐熱性）、ゴム長靴を着用する。

火災時の特定危険有害性：情報なし

#### 6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入を禁止する。  
 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避け、風下で作業を行わない。  
 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する注意事項：河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収・中和などの浄化の方法・機材等  
 漏洩物は掃き集めるか掃除機などの集塵装置で回収する。大量の場合、適時の方法により空容器に回収し、漏洩した場所は水で十分に洗い流す。  
 風による再飛散の可能性のある場合には、シートなどによって覆う等の考慮をする。  
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 7 取扱い及び保管上の注意

##### 7.1 取扱い上の注意事項

技術的対策：必要に応じて適切な保護具を着用し、丁寧に取り扱う。  
 局所排気・全体換気：局所排気または全体換気のある場所で取り扱う。  
 安全取扱注意事項：使用前に使用説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
接触、吸入又は飲み込まないこと。  
取扱後は、うがい手洗いを十分に行うこと。  
環境への放出を避けること。

- 7.2 保管上の注意事項 : 直射日光及び高温多湿の場所を避け、屋内の換気の良い冷暗所に保管する。  
床面にこぼれた粒は常に清掃して取り除く。放置すると足下が滑って転倒を招く危険性がある。  
吸湿性が少々あるので、長時間放置すると固結する。

## 8 暴露防止及び保護措置

- 8.1 管理濃度 : 設定されていない。  
許容濃度(参考)  
日本産業衛生学会 : TLV-TWA 0.2mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵・Mnとして) 2008年版  
ACGIH : TLV-TWA 0.2mg/m<sup>3</sup> (Mnとして) 2011年版
- 8.2 設備対策 : 屋内で取り扱う場合、粉塵が発生する場合には局所排気装置を設置する。  
また取扱場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼装置を設けその位置を明示する。
- 8.3 保護具  
呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用する。  
手の保護具 : 適切な保護手袋を着用する。  
眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用する。  
保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて適切な保護衣、安全靴等を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

物理的状態・形状・色等 : 黒色～茶褐色の固体。(粒体)  
臭い : 微甘味臭。  
pH : データなし  
融点・凝固点 : データなし  
沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし  
引火点 : データなし  
爆発範囲 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度(空気=1) : データなし  
比重 : 約 1.80 (嵩比重)  
溶解性 : データなし。粒状崩壊  
オクタノール/水分配係数 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
分解温度 : データなし

## 10 安定性及び反応性

化学的安定性・反応性 : データなし  
危険有害反応性の可能性 : データなし  
避けるべき条件 : データなし  
混触危険物質 : データなし  
危険有害な分解生成物 : データなし

## 11 有害性情報

急性毒性(経口) : データが無いため「分類できない」とした。  
急性毒性(経皮) : データが無いため「分類できない」とした。  
急性毒性(吸入:気体) : 分類対象外  
急性毒性(吸入:蒸気) : データが無いため「分類できない」とした。  
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : データが無いため「分類できない」とした。  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データが無いため「分類できない」とした。

眼に対する重篤な損傷性  
又は眼刺激性：データが無いため「分類できない」とした。  
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データが無いため「分類できない」とした。  
生殖細胞変異原性：データが無いため「分類できない」とした。  
発がん性：データが無いため「分類できない」とした。  
生殖毒性：区分 1 B（生殖能又は胎児への悪影響のおそれ）

特定標的臓器毒性  
単回暴露：区分 2(呼吸器)に該当  
反復暴露：区分 2(神経系、呼吸器)に該当  
吸引性呼吸器有害性：データが無いため「分類できない」とした。

---

## 12 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：データ不足のため、「分類できない」とした。  
水生環境有害性（長期間）：データ不足のため、「分類できない」とした。  
オゾン層への有害性：データ不足のため、「分類できない」とした。

---

## 13 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに危険性、有害性を明示して処理を委託する。  
当品を含む排水は排水溝に廃棄せず、ろ過にて除去後に排出する。  
汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14 輸送上の注意

国連番号：該当せず  
国連分類：該当せず  
容器等級：該当せず  
海洋汚染物質：該当せず  
特別の安全対策：特になし  
その他の注意：取り扱い及び保管上の注意の項に記載の如く、包装袋の破袋、水漏れに注意し輸送する。落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。雨天時は防水シート等で覆いをする。

---

## 15 適用法令

肥料取締法：普通肥料(鉍さいマンガ肥料)  
毒物及び劇物取締法：該当せず  
労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物 マンガン及びその無機化合物  
労働安全衛生法：特定化学物質第 2 類物質 マンガン及びその化合物  
P R T R 法：第 1 種指定化学物質 1-412 マンガン及びその化合物  
消防法：該当せず

---

## 16 その他の情報

- ・化学便覧 基礎編 改訂 3 版 日本化学会編
- ・化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防協会編

記載事項の問い合わせ先：朝日化工株式会社 富山工場  
電話番号 0766-61-1105

### < 注意 >

この製品安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いにはこの情報に基づき自らの責任において適切な処置を講じてください。  
また、本 SDS の記載内容（含有量、物理／化学的性質、危険有害性など）は、情報提供であり、記載した製品の取扱上のいかなる保証をするものではありません。  
お客様の使用目的や使用した結果につきまして、いかなる責任を負うものではありません。

お客様のご使用目的に合うかどうかは、ご自身でご判断願います。  
なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。  
本 SDS は、下記朝日化工株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	朝日化工株式会社
住所	富山県小矢部市下後畷 503 番地 1
担当部門	製造部
担当者名	工場長 品川 賢児
電話番号	0766-61-1105
FAX 番号	0766-61-1106
緊急連絡先	朝日化工株式会社 富山工場
電話	0766-61-1105